

## Japan Electroacoustic Music Concert

日本の若き電子音楽作曲家による、アコースモニウム空間音響芸術演奏会

音楽の在り方が今まで以上に問われる現在において、「場」という問題が重要な意味を持っています。

今回は、スピーカーのために作られた電子音響音楽(テープ音楽、ミュージック・コンクレート/アコースマティック、電子音楽など)を、コンサートで発表するための多次元立体音響装置である「アコースモニウム」を使用した演奏会を開催致します。

アコースモニウムとは、コンサート空間に自由に配置された複数(通常は16個以上)のスピーカーを、ミキサー上のフェーダーを操作することによって、様々な音響空間を表現する為のシステムです。

また招待作品として、日本のコンピュータ音楽の草分けの一人である上原和夫氏、2005年～2008年にドイツ国営放送から委嘱作品を発表された石上和也氏の作品を演奏し、日本におけるアコースモニウムの第一人者である檜垣智也氏に招待作曲者として出演して頂きます。

16時より、川崎弘二氏(『日本の電子音楽』著者)、檜垣智也氏、森下明彦氏(国立国際美術館客員研究員)、林恭平の4人によるアフタートークを行います。

会場:国立国際美術館B1講堂

開催日:2014年2月9日(日)

開催時間:開場 13時30分

開演 14時00分

終演 16時30分

入場料:無料

入場定員:80名

主催:電子音響芸術研究会

代表:林恭平

会員:

新居 正教

高野 大夢

中田 耕太郎

永野 隆満

永松 ゆか

渡邊 裕美

上瀬 留衣

招待作品作曲家:上原 和夫・石上 和也

招待作曲家:檜垣 智也

アフター・トーク:川崎 弘二、檜垣 智也、森下 明彦、林 恭平

協力:国立国際美術館

後援:日本電子音楽協会・日仏現代音楽協会

設備協力:MUSICIRCUS

設置協力:牛山奏良

## 出演・出品者プロフィール

招待作品作曲家プロフィール:

### 上原 和夫(うえはら かずお)

72年よりニューヨークで創作、コンサート活動を行う。

83年フランス、ブールジュ国際コンクール入賞。90年、ニューヨーク州芸術評議会のグラント獲得。近年、国際交流基金等の派遣によりブルガリア、ブラジル、ロシア、ポーランド、ドイツ、フランス等で公演を行い好評を得る。

CDに「COSMOS 1」「ASSEMBLAGE」(OMEGA POINT)「禅問答」(Moon Bridge)など多数。著作に「コンピュータミュージックの世界」(サイエンス社)他、

現在、大阪芸術大学教授

### 石上 和也(いしがみ かずや)

1972年大阪生まれ。1997年8月 INA-GRM 夏期アトリエ参加。2002年9月 WDRドイツ国営放送にてライブ・レコーディング(国際交流基金助成)。2005年9月 DeutschlandRadio(DR)ドイツ国営放送にて[Sonic Escapism]初演・放送。2006年6月、DRドイツ国営放送にて委嘱作品 [2nd49]初演・放送。2010年2月 実験音楽レーベル OMEGA POINT からアコースマティック作品集 CD「発心の兆」リリース。2012年12月 実験音楽雑誌「音人」発行。2013年3月「神戸電子音響音楽祭」主催。自主レーベル[NEUS-318]を主宰。

招待作曲家プロフィール:

### 檜垣智也(ひがき ともなり)

作曲・電子音響(アコースモニウム)。愛知県立芸術大学大学院修了。フランス留学中に電子音楽の作曲と演奏で注目される。Digital Music Festival(2003, 神戸)にて日本へアコースモニウムを紹介し国内の活動を始める。国際リュック・フェラーリ・コンクール(2003)など多数の国際コンクールや音楽祭で入賞・入選。INA-GRM や詩神の回路など数多くのコンサートや音楽祭に出演。Radio France など欧米のラジオ局で頻繁に放送される。ソロ CD「Mahoroba」(Motus) アコースモニウムの専門家としてアンリ、フェラーリ、ライヒ、武満など 400 以上の作品を演奏。現在まで九州大学大学院、愛知県立芸術大学大学院、同志社女子大学、大阪芸術大学、名古屋芸術大学などで後進の指導にあたる。MOTUS と FUTURA の常勤演奏家及び講師。

演奏・音楽作品提供者(電子音響芸術研究会員)プロフィール:

**林 恭平(はやし きょうへい)**

1984年福井県で生まれる。2012年、大阪芸術大学大学院作曲コース修了。七ツ矢博資、上原和夫、宇都宮泰、檜垣智也に師事する。在学中より、電子音楽の創作を行い、精力的に活動を行う。芥川龍之介の提唱する「話らしい話のない小説」を電子音、具体音によって表現した、文学性に溢れた電子音楽作品は、国内外で多数、入賞、入選を果たし高い評価を得ている。また、音楽作品だけではなく、映像制作も同時に行っている。  
日本電子音楽協会会員。日仏現代音楽協会会員。

入賞・入選歴

2013

『sakura』 International Computer Music Association 入選

『Expressionless bicycle rider OK』 Nit electro sonora(スペイン) (映像作品)入選

2011

『sonic lady city』 Prix Russolo(フランス) 入選

『L'Étranger』Contemporary Computer Music Concert(日本) MOTUS 賞

2010

『action painting music』 Contemporary Computer Music Concert(日本) 入選

上演歴

2013

『sakura』 International Computer Music Association(オーストラリア)

『Expressionless bicycle rider OK』 Nit electro sonora(スペイン)

2012

『Broadcast Yourself』 SYNTAX 11.2 L'Art radiophonique(フランス)

『sonic lady city』 Traces de sons(フランス)

『L'Étranger』 Futura(フランス)

2011

『L'Étranger』 elektramusic(ウェブラジオ)(フランス)

2006~2009

Audio Art Circus 06,07,09,2010(日本)

CD 出版

2012

"Eros' Weapons" Studio Forum Monochrome Vision(ロシア)

## 高野 大夢(たかの ひろむ)

1986年山梨県生まれ。山梨大学教育人間科学部卒業、同大学院教育学研究科修士課程修了。作曲を藤原嘉文、吉原太郎の各氏に師事。CCMC Contemporary Computer Music Concert 2007 および 2011 入選。第二回東京国際歌曲作曲コンクール入選。2012年3月には、吉原太郎氏が主宰していたコンサートシリーズ「ELECTRO SOUNDS SPACE」の最終回にて、自身の電子音響音楽作品のみによりプログラムを構成した初の個展「Hiromu Takano Hyper Solo Live」を開催、全作品をアコースモニウムにより自作自演する。純粋な音楽作品の制作・発表のほか、近年はゲーム作品のサウンドトラック制作、歌手・声優への楽曲提供、ラジオ番組のジングル作成などに多く携わっている。日本電子音楽協会員。プレス・リヤン協会員。

## 渡邊 裕美(わたなべ ひろみ)

静岡県出身、パリ在住。東京藝術大学音楽学修士課程終了後、渡仏。電子音楽の制作を始める。アクスマティックな語法から出発し、さまざまな物質にまつわる固有の音楽的な身振りを作品に取り入れながら幻想的で色彩に富んだ音響空間を作り出している。

電子音響音楽をレジス・ルヌアール・ラリヴィエール(エリック・サティ音楽院)、並びにクリスティヌ・グルト(パンタン音楽院)、コンピュータ音楽をオクタヴィオ・ロペス(ジョルジュ・ビゼー音楽院)、ロラン・ポティエ(サン・テティエンヌ大学)に師事。2009年には Musiques et Recherches(ブリュッセル)にて、また2012年にはフランスの Futura(クレ、フランス)にてアクスマニウムの講習会を受講。2011年には GMVL(リヨン)にてフィールド・レコーディングの講習会を受講。2012年には Ircam(パリ)主催のマニフェスト・アカデミーにて先端技術のワークショップ講習生に選出される。同年、パンタン音楽院にて審査員満場一致の最優秀でディプロム(DEM)を取得、同時に SACEMより奨学金が授与される。

作品は CCMC2011(東京), Festival Futura 2011, KAAF2012(大阪), GRM 主催 Concert Banc d'essai 2013(パリ)などで演奏されている。CCMC2011 ではベルトラン・ドゥブドゥー氏により ACSM116 賞を受賞。2013年には若手作家プログラムによりトーキョーワンダーサイトに滞在。2007年から2009年までロータリー国際親善奨学生。

## 永野隆満(ながの たかみつ)

鹿児島県出身。2007年昭和音楽大学作曲学部卒業。これまで作曲を吉嶺史晴、電子音楽を吉原太郎、ピアノを堀由布子各氏に師事する。学生時より、朗読と器楽演奏が主の音楽団体に在籍し全国各地にて公演を開催。2010年より、クラシックバレエ教室 AkiBalletStudio、ピアノ教室ぼこあぼこの代表として、神奈川県内に数店舗構え、教室運営を主とし、舞台公演の企画主宰、音楽監督などを毎年歴任。

受賞歴は主に CCMC 最優秀賞(2007)、執筆においてはゼノアック最優秀賞(2010)など。仏 MOTUS 夏期アトリエ参加(2006)仏 FUTURA2007 出品。

音楽付き絵本「ちいさなおくりもの」出版。  
その他、国内様々なコンサートやワークショップに出演、参加。

## 永松 ゆか(ながまつ ゆか)

大阪芸術大学大学院博士課程前期課程在籍。2010年より電子音響音楽を学ぶ。作曲を上原和夫、檜垣智也両氏に師事。Audio Art Circus2010にて『間(あいだ)』が公募部門最優秀作品に受賞。イタリアのレッツェ「Silence」にて上演。

また、Computer Music Concerts 2013にて『as a luminograph』がFUTURA賞を受賞。『奏』のフランス上演や、Rossini『Duetto Buffo di Due Gatti』の編曲など、楽曲制作・発表を少しずつ行っている。

## 中田 耕太郎(なかた こうたろう)

1988年大阪府生まれ。70年代の洋楽ロックを聴いたことをきっかけに音楽に興味を持ち、高校時代よりエレクトリック・ギターの演奏、ポップスの作曲を始める。その後、大阪芸術大学芸術学部音楽学科に進学。在学中に受けた授業をきっかけに電子音響音楽の制作を始める。作曲を上原和夫、檜垣智也両氏に師事。

音楽に興味を持ち始めた当初は「あるべきところにあるべき音を置いていけばいい作品ができる」と考えており、その考えは今も大筋では変わらず「全ての音は音楽を構成するための記号」と捉えている。しかし、最近はある作品を制作したことをきっかけに概念が少し変わり、時折世の芸術作品や、ときにはアパートのトイレの壁なんかに見える「抽象的な事実」と呼べるものを作品に込めて、「なんだかわからないけれどたしかにそこに、ある人にとっては意味をもった何かがあり、だが結果何を言いたかったのかわからない」作品を作りたいと考えている。

国際電子音響音楽フェスティバル「Audio Art Circus 2010」にて拙作「音速ラプソディ」が公募部門入選。また、電子音響音楽の作曲家であるヴァンサン・ロブフ氏に作品を認められる。

## 新居正教(あらい まさのり)

意味がありそうで意味がないような、でも感じたりする、そんな「何か」は楽しい。

そんなのが好きで、つくっています。

大きさに言えば、初期衝動に基づく創作と、その創作過程で変化していく直感的な感情や衝動を記録された音響の芸術として表現している。

1982年生まれ、兵庫県出身。

中学時代にエレキギターを買い、その後高校、大学とバンドをやったりしながらパンクロック・オルタナティブロック等に傾倒する。その後、現代音楽やエレクトロニカ等に興味を持ち、2009年に大阪芸術大学通信教育部へ編入。本格的にアコースマティック音楽等の電子音響音楽の制作を開始。同時にコンクールやコンサート等で作品を発表。

2011年 AAC、2012年 2013年 CCMC 入選。

また2011年より、トランス・アンビエント・エレクトロニカの要素と、アコースマティックな音響を基とした、マトリョミンとラップトップ PC による即興演奏ユニット「幻想音楽研究室」としてライブ活動開始。2013年、神戸電子音響音楽祭に出演。

立体オブジェ制作者プロフィール:

上瀬留衣 (かみせ るい)

1987年生まれ

2010.3 大阪芸術大学 芸術学部 芸術計画学科卒業

2010.5 大阪芸術大学敷地内ゲリラ恒久展示グループ展  
「一切の豪華なショットと」

2010.7,9 大阪芸術大学オープンキャンパス  
「プールプロジェクト」 living sculpture / 生きた彫刻 展示(実演)  
「パラソルプロジェクト」 living sculpture / 生きた彫刻 展示(実演)

2010.11 peephole theater 大阪 阿倍野  
「上瀬留衣 個展 / kamiserui solo」 living sculpture / 生きた彫刻 展示(実演)

2011.3 ギャラリー流流 大阪 阿倍野  
「上瀬留衣 個展 / kamiserui solo」 ドローイング

2011.8,9 ギャラリー流流  
企画展「再 part1,2」 オブジェ

2012.5 Wag Art Cube 大阪 本町  
企画展「ロマンティック」 living sculpture / 生きた彫刻 展示(実演)

2012.5 GALLERY wks. 大阪 西天満  
「上瀬留衣 個展 - 提案」 living sculpture / 生きた彫刻 展示(実演)  
インスタレーション

2012.6 ギャラリー流流  
企画展「漂」 オブジェ

2012.7,9 GALLERY wks.  
wks. 祭 / 平面展 10th Anniversary コラージュ  
wks. 祭 / 立体展 10th Anniversary オブジェ

2013.2 ギャラリー流流  
グループ展「最新ゆとりスタイル」 コラージュ

2013.3 ギャラリー流流  
グループ展「self portrait」 コラージュ

なんばパークスアートプログラム vol.9  
「ボーダーレスのゆくえ」 インスタレーション、コラージュ

2013.4 ギャラリー流流  
企画展「間」 コラージュ

2013.11 奈良・町家の芸術祭 HANARART 2013  
「sweet home」 インスタレーション

主催:電子音響芸術研究会

代表:林 恭平

協力:国立国際美術館

後援:日本電子音楽協会・日仏現代音楽協

問合せ先:電子音響芸術研究会(代表:林 恭平)

Mail:atomage@msn.com